咬合接触検査装置
T-スキャンⅢ

咬合接触位置、咬合接触力、咬合接触時間の
咬合の3要素を同時に検査表示

EBM 医療の重要性が叫ばれる現在、客観的な咬合検査・調整法の必要性が高まっています。咬合接触検査装置「T- スキャンⅢ」は従来の咬合紙やワックス、その他の検査機器では検知できなかった咬合の３要素「咬合接触位置」、「咬合接触力」、「咬合接触時間」を同時に精密に計測できます。
より科学的で客観的なデータに基づいた咬合診断、治療結果の判定が可能となります。
これからの歯科医療に欠かせない新しい咬合検査機器の登場です。

わかりやすい画面表示で
インフォームドコンセントに威力を発揮

咬合紙による診断をより客観的に!

<神奈川県相模原市開業　奥森 直人先生>
当医院では日々の臨床でインプラントによる治療をおこなっております。インプラント補綴と天然歯を含む症例では、咬合紙記録による咬合調整では二次元的要素を満たすのみで、定量的に破壊的咬合圧を判断することが困難です。そこでT-スキャンを用いるとインプラント上部構造がどのように対合と接触すべきで、また天然歯の場合とどのように違いをつけるべきか、それとも同時同圧かなどと言う問題をメインテナンス時に考察しやすく、患者さんにも直接PC画面をみていただき咬合の経年的変化をビジュアルで捉えることが可能です。そして、咬合もメインテナンスが必要であることを説明できます。

<患者様からの一言>
インプラントの治療をして定期的に衛生面とかみ合わせなどを見ていただいてます。画像を使われた説明でたいへんわかりやすく今後も安心です。

咬合治療に明確な治療方針をもたらすT-スキャン

<神奈川県川崎市開業　小野田 恵一先生>
近年、多くの歯科医師が『ブラキシズムによる過度の咬合力が歯科疾患に関わっている』ことを報告しています。しかし従来の方法では患者さんが噛みしめたときにどのような力がどのように歯牙に加わっているかを本質的に知ることは不可能でした。T-スキャンを使えばそれらを知ることが出来、患者さんにも視覚的に説明できるので咬合治療に対して明確な治療方針を示すことができるのです。

<患者様からの一言>
噛み合わせは人と比べることが出来ないので曖昧に「こんなものかな」と思っていましたが、検査の結果を見て驚きました。「まさにその通り!」なのです。噛み合わせの力が強く加わっていた歯に今までトラブルが多かったのでなるほどと思いました。

T-スキャンⅢの特徴

咬合バランス表示

咬合接触部位や咬合圧バランスをリアルタイムに表示可能。測定中においても咬合接触状態が確認できます。センサシートを噛むだけでCOFとCOF軌跡により、咬合バランスとその変化が簡単にわかります。

時間的変化が分かる

咬合部位の動的変化を測定可能。早期接触や咬頭干渉の発見、側方滑走運動、タッピング運動などの動的な咬合解析が可能です。

コストパフォーマンスの高いセンサシート

センサシートは10回程度※の連続使用が可能で、ランニングコストが安くなります。

※患者様の咬合状態により変わります。

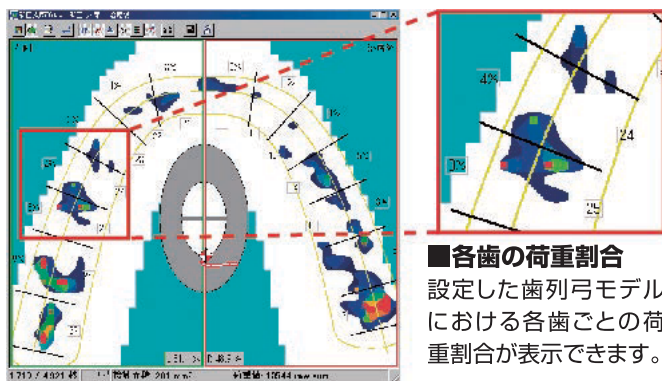
データベース機能

患者様のムービーデータや各種情報を管理するデータベース機能により、素早く検索でき目的のデータを簡単に探すことが出来ます。

使いやすく便利な解析ソフト

COF表示、MIP表示、グラフ表示、3次元表示等、視覚的で使いやすい解析ソフトを用意しています。咬合診断や治療結果の判定のみならず、患者様へのインフォームドコンセントにご利用頂けます。

■各歯の荷重割合

設定した歯列弓モデルにおける各歯ごとの荷重割合が表示できます。

■COF表示・MIP表示

MIPは咬合接触面積の最も広いフレームを表示します。咬頭嵌合位における接触部位と咬合バランスを表示します。

COFは咬合圧重心を表示します。重心の移動軌跡、基準範囲も表示します。

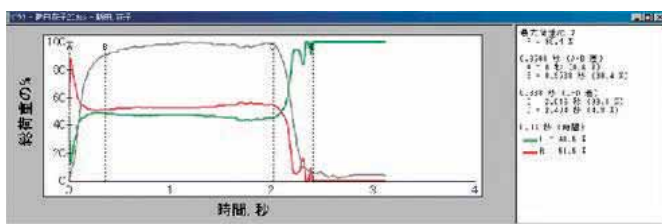
■MAX表示

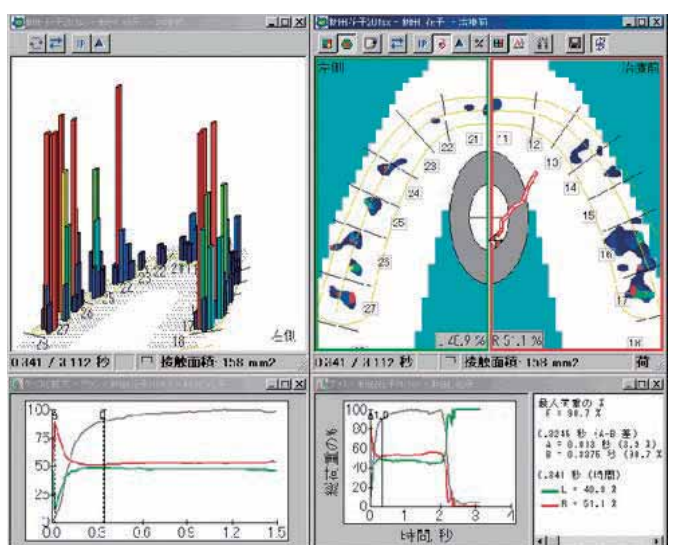
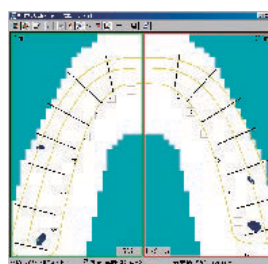
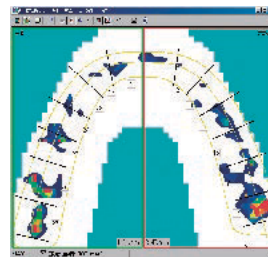
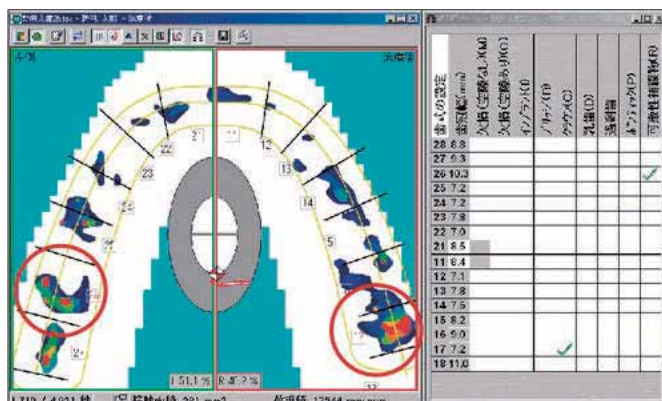
1つのムービーの中で各センサセルに加わった最大荷重値を合成して表示する機能です。

■デルタ表示

MAX表示からMIPのフレームの各センサセルの値を減算した表示です。MIPに至る過程で接触があったがMIPでは接触がなくなった接触部位を表示する機能です。早期接触などの検索に有用です。

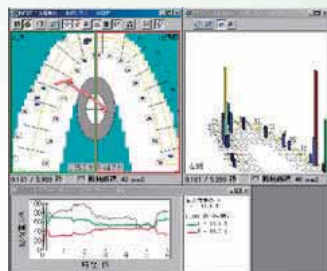
■グラフ表示

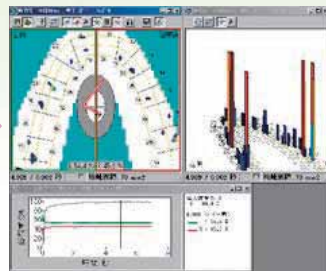
咬頭嵌合位における咬合接触の同時性や側方滑走運動時の離開のスムーズさなど接触時間の測定が可能です。

■3次元・ズームグラフの表示

2次元とグラフに加えて、3次元とズームしたグラフのウィンドウを表示します。

■表によるアーチモデルの設定

各歯の情報を表で設定できます。

臨床例　　顎関節症の患者さんの場合

治療前データ

- 接触点数が少なく、咬みしめ初期のバランスが悪い
- 特定歯に咬合力が集中している
- 左側小臼歯部に早期接触がみられる
- 咬合接触の同時性が悪い
- グラフの総荷重値が安定せず、咬みしめが保持できていない

治療後データ

- 両側臼歯部の均等接触がみられる
- 術前よりも同時性が高い
- COF軌跡が短縮し、COFターゲット内で推移している
- グラフの総荷重値が安定し、咬みしめが保持できている

T-スキャンⅢ　システム内容

※PC本体はシステム内容に含まれません
※システムでご使用になられるPCにつきましては、営業窓口までお問い合わせください

品　名	数量	仕　　様
センサシート	20枚	(S)10枚、(L)10枚、
センササポート	4個	(S)2個、(L)2個
センサコネクタ(USBケーブル付)	1個	A/D分解能:8ビット サンプリング速度: 最大10msec(1フレーム当り) ※ターボモード時:最大2msec サイズ:幅55×奥行135×高さ33(mm) ケーブル長さ:約4.5m 重量:約330g(ケーブル含む)
ソフトウエア	1式	OS:Windows7、8対応
取扱説明書	1式	

本体価格 878,000円+税

消耗品

センサシート　(L)1パック、20枚入り
センサシート　(S)1パック、20枚入り
センササポート　(L)1パック、2個入り
センササポート　(S)1パック、2個入り

価格につきましては、下記までお問い合わせください

医療機器届出番号
29B3X00007-000008
（一般医療機器、クラス分類Ⅰ、特定保守該当）

　＊このカタログに掲載している内容は、予告なく変更される場合があります

安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

ニッタ株式会社 事業開発センター

東　京　〒104-0061　東京都中央区銀座8-2-1
TEL:03-6744-2720　FAX:03-6744-2721

http://www.nitta.co.jp
E-Mail:sensor-info@nitta.co.jp

ニッタグループ ▶ ニッタ | ゲイツ・ユニッタ・アジア | ニッタ・ハース ◀

代　理　店

2014.9.KY